

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	横河マニュファクチャリング株式会社（旧横河電機（株））					
代表者名	氏名	戸松 浩	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都武蔵野市中町2-9-32					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	28 電子部品・デバイス・電子回路製造業				
主たる事業の概要	半導体素子製造、半導体部品組立、センサー製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,123	1,800	2,032	2006	2028
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4,492	3,798	4,292	4229	4271
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	22		26	37	38
自動車の台数	台	1		1	1	1
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	4				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

3 計画書（報告書）の公表方法等

<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	公開時のHPアドレス http://www.yokogawa.co.jp/cp/csr/env/globalw.htm
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,492	t-CO ₂	作業時間	148.61	単位	千時間	
28年度	調整後排出量	4,466	t-CO ₂	基準原単位	30.23	t-CO ₂ /	千時間	
目標年度	目標排出量	3,798	t-CO ₂	目標原単位	26.60	t-CO ₂ /	千時間	寄与度の合計から求めた目標削減率※
31年度	目標削減率	15.44	%	目標削減率	12.00	%		
目標設定に関する説明	国の努力目標5年5%削減に対し、3年15%削減という高い目標を掲げ活動する。目標原単位の設定において、作業時間を基準年と同じとした。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	4,292	t-CO ₂	作業時間	156.40	単位	千時間	
	調整後排出量	4,260	t-CO ₂	原単位	27.44	t-CO ₂ /	千時間	寄与度の合計から求めた実績削減率※
29年度	削減率	4.45	%	削減率	9.22	%		
排出量等の増減理由	生産を夏季から中間期にシフトさせ、空調の冷熱源負荷低減及び大電力装置停止により電力ピークカット及び電力平準化を行い効果を上げた。また、新たに排熱回収システムを導入及び既設排熱回収システムの余剰分の利用を施した。							
第二年度	排出量	4,229	t-CO ₂	作業時間	170.63	単位	千時間	
	調整後排出量	4,203	t-CO ₂	原単位	24.78	t-CO ₂ /	千時間	寄与度の合計から求めた実績削減率※
30年度	削減率	5.85	%	削減率	18.02	%		
排出量等の増減理由	空調、装置冷却の排熱を回収し、空調機加熱、ボイラ補給水加熱の熱源として利用を促進させたことにより、作業時間が増加したにもかかわらず、エネルギー使用量を削減を果たした。							
第三年度	排出量	4,271	t-CO ₂	作業時間	171.23	単位	千時間	
	調整後排出量	4,237	t-CO ₂	原単位	24.94	t-CO ₂ /	千時間	寄与度の合計から求めた実績削減率※
31年度	削減率	4.91	%	削減率	17.49	%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由	国の努力目標5年5%削減に対し、3年15%削減という高い目標を立てた。3年で5%のCO ₂ 削減はできたが計画未達。生産物量増により人員を増やした。そのため原単位のベースとなる作業時間は増えた。CO ₂ 削減施策である片寄せ生産や工程真空供給設備のインバータ化等が未実施でCO ₂ 削減が出来なかった。							

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	22	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた目標削減率 [※]
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	26	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	(18.19)	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	37	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	(68.19)	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	38	t-CO ₂			単位		
年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /		寄与度の合計から求めた実績削減率 [※]
年度	削減率	(72.73)	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4	t-CO ₂			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO ₂	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO ₂	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	310400 エネルギー使用量の管理（蒸気の見える化）	H29	0	H29	0
2	エネ起	310400 エネルギー使用量の管理（熱量の見える化）	H30	0	R1	0
3	エネ起	330299 7℃冷水水平準化(AHU-1ドライコイル化)	H29	23	H29	12
4	エネ起	329999 熱回収導入(装置排熱を空調加熱に利用)	H29	52	H29	32
5	エネ起	370799 片寄生産（LP-CVD生産）	H29	27	H29	11
6	エネ起	330299 クリーンブース、FFU空調休業モード連動	H29	29	H29	33
7	エネ起	360705 工程真空供給設備のインバータ化	H30	16	-	0
8	エネ起	360705 超純水製造設備送水の休業モード切替	H30	12	-	0
9	エネ起	380752 照明のLED化（Harpライン）	H29	7	H29	2
10	エネ起	330203 クリーンルームの空気調和管理	H31	135	H30	60

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO ₂					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO ₂					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO ₂					
県が認証したクレジット	tCO ₂					
電気の利用に伴うもの	tCO ₂	26		32	26	34
低炭素電力の利用	tCO ₂					

様式1号
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	4,492	1	4,292	1	4,229	1	4,271
1,500k1未満								
合計	1	4,492	1	4,292	1	4,229	1	4,271

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC			11	13
PFC			11	14.1
SF ₆	22.2	25.5	15	11.34
NF ₃				
合計	22.2	25.5	37	38.44

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車	1	1	1	1
その他 (ハイブリッド等)				
合計	1	1	1	1
自動車総数	1	1	1	1
次世代車導入割合	100	100	100	100

様式1号
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	特になし
公共交通機関の利用促進	出張に際し、公共交通機関の利便性が良い地域は公共交通
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	ISO14001:2015・JIS Q 14001:2015 明示登録証番号: EC04J0198-2	平成21年 横河電機(株)の認証範囲に入る
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ大賞中日本地区発表大会参加 夏季、製造片寄生産の実施
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ大賞中日本地区発表大会参加 夏季、製造片寄生産の実施
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 夏季、製造片寄生産の実施
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 社員の省エネアイデア募集して検討した

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO ₂)
基準年度以前の取組み	純水製造用加熱熱源排熱利用	115
その他	7℃系冷水の排熱利用	101